

旧甲州街道日野の渡しと旧家を訪ねて

開催日 3月29日(土) 午前9時～12時30分

コース 日野図書館→①東の地蔵→②馬頭観音→③滝瀬家→④岩沢家→⑤コレラ庚申塔→⑥土方家→⑦旧大手橋共同製粉所→⑧万願寺の一里塚→⑨万願寺の渡し→日野の渡し→日野図書館

講師 加地勝さん(日野の歴史と民俗の会、日野宿発見隊)
井上博司氏(写真家、日野宿発見隊)

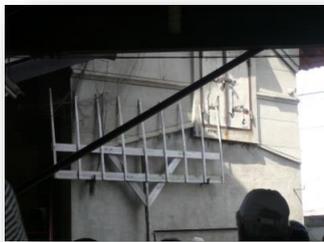
特別講師 清野氏(文化スポーツ課学芸員)



①東の地蔵。かつてここに西明寺があったが現在は普門寺に移設されている。



②馬頭観音



稲作に使われた道具



腰掛のついた2輪車



③旧家滝瀬家の奥様からお話を伺う。屋敷を囲むようにして建つ蔵の周りには、かつて使われていた農耕具やつい最近まで使われていたという五右衛門風呂など興味をそられるものばかり。



五右衛門風呂

この風呂のかまどに使われていた煉瓦がもしや日野煉瓦ではとの声が上がったが、学芸員の清野氏より別物であるとの説明を受け、ちょっと残念な気分になった隊員たち。



④「戦時中この地区では米軍の爆撃による被害があったんです」と話す岩沢さん。



屋敷の裏には用水が流れる。用水は生活の一部だった。



紅の桃の花、白い梅の花がこちよい。



⑤万延元年建立のコレラ庚申塔。区画整理事業が進むなか居場所がまだおちつかないといった様子。



⑦「大手は日野の万願寺」で有名な大手橋近くの共同製粉所。かつては粉ひきの順番待ちができるくらいフル稼働していたとか。



⑥万願寺地区の昔の様子を語る土方氏。



用水の側で見た仲のよさそうなカモのつがい。



⑧日本橋から9里の地点にあった万願寺の一里塚。かつての様子を知る上で貴重な存在。一度は姿を消しかけたこの塚の保存運動に動いてくださった先人たちに感謝します。特別にてっぺんまで登らせてもらいました。2代目の榎の木はまだ幼木でしたが、この木がいつしか大きく成長してくれることを祈りました。

⑨万願寺の渡しのあった付近。昔は堤防も整備されていたわけではなく、水かさもはるかに多かった。対岸は現在の国立市青柳。土方歳三もこの辺を渡って習字の手習いに対岸まで行ったといひます。



ピラとポスター

▽今回の発見隊は好天に恵まれ、桃や梅の花を愛でながらの気持ちのよい一日でした。花粉症にもめげず参加していただいた方には特に感謝申し上げます。

▽参加者総勢53名ということで、2グループにわかれて歩きました。滝瀬家ではいっしょに説明を受けたものの、その後はそれぞれのペースで進んだため、後のグループが図書館に着いたのは30分ほど後のこと、お疲れさまでした。

日野宿発見隊第11弾 旧甲州街道日野の渡しと 旧家を訪ねて

日野警察の裏から旧甲州街道をめぐり、万願寺一里塚・日野の渡し・桜咲く多摩川土手を歩きます。コース途中に残る旧家の蔵が見どころです。日野の再発見ができる楽しい散策です。

日時 3月29日(土) 午前9時から12時

集合 日野図書館

案内人 井上博司さん(郷土写真家)

加地勝さん(日野の歴史と民俗の会)

申込み 前日までに日野図書館に電話
(どなたでも無料)

連絡先 日野市立日野図書館
日野本町 7-5-14 TEL 584-0467